

### 3年音楽科 学習指導案 授業者 向田 瑞貴

## 1 題材の概要

題材名：クラスオリジナルの連作交響詩「わが祖国」日本版をつくりあげよう

本題材はスメタナ作曲、連作交響詩「わが祖国」から『ブルタバ』を学習したのちに行う、その特性を活用した創作活動です。描きたい情景やキーワードを標題として設定し、それを象徴するような旋律を原型のまま用いたり、変形させたりしたものを組み合わせて作品をつくりあげていきます。

|                       | 目標                                                                                                                | 評価規準                                                | 評価資料          |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------|
| 知識<br>技能              | 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解して選択するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、音の選択や組合せなどの技能を身につけることができる | 標題にふさわしい旋律を選択し、その旋律をより標題に適した形に変形したり、組み合わせたりしている     | 完成作品          |
| 思考<br>判断<br>表現        | 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫することができる                                                               | 標題にふさわしい旋律やその変形を用いてどのようにまとまりのある作品に仕上げるか、思いや意図をもっている | 振り返り          |
| 主体的に学<br>習に取り組<br>む態度 | 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる                                                                             | 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている               | 振り返り<br>活動の様子 |

## 2 題材の展開

### 題材の流れ（全4時間）

|   |                                                                       |
|---|-----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 標題を決め、それに表すのにふさわしい既存の旋律を選択する                                          |
| 2 | 既存の旋律をさまざまに変形させ、標題に適した形を選択し、演奏を行う                                     |
| 3 | 標題に合わせて変形などをした旋律を、効果的な組み合わせ方法でつなぎ合わせる                                 |
| 4 | 各グループの作品を聴き、クラスでまとまりのある作品に仕上げるために、つなぎ合わせる方法を検討する<br>完成した作品を披露し、録音して残す |

### 本時（2 / 4時）の流れ

#### 本時の目標

標題に合わせて選択した旋律をさまざまに変形させ、標題に適した形を選択することができる

1. 変形パターンについて理解する（5分）
2. 旋律（原型）の演奏・打ち込み（10分）
3. 学習班で効果的な変形パターンを検討し、その演奏・打ち込みを行う（25分）
4. 1～2グループを取り上げ、現時点での演奏を聴く（5分）
5. 授業のふりかえりを書く（5分）

## 本授業で育てたいグローバル・コンピテンス

この学習課題に取り組む

ことで

こんな学習者の姿が生まれる

日本を象徴する標題に沿った旋律や、その変形について協議しながらつくりあげていく

日本の良さや特性を外から見る視点を養い、その特性を表象する旋律を生み出すために他者と意見を出し合い、互いに尊重しあいながら問題解決しようとしている。

## 焦点化して育みたいグローバル・コンピテンス

異なる音楽文化を持つ人と協働的に旋律をつくりあげる場面

定義

【グローバルな問題の発見・検討】 地域、世界、異文化間の問題を検討し、  
【異文化・他者理解】 他者の視点と世界観を理解し認め、  
【異文化間交流】 異なる文化を持つ人々とオープンで適切で効果的な関わりを持ち  
【企画・行動】 共同体の幸福(ウェルビーイング)と持続可能な開発のために行動する能力

要素

| 知識                                                                            | スキル                                                                                            | 価値観                                                                        | 態度                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| グローバルな問題や、異文化理解に関する知識。<br><br>1. 地理的知識<br>2. 歴史的知識<br>3. 社会・文化的知識<br>4. 経済的知識 | 異文化間コミュニケーションや、グローバルな問題の解決、批判的思考などのスキル<br><br>1. 異文化間コミュニケーションスキル<br>2. 問題解決スキル<br>3. 批判的思考スキル | 異なる文化を持つ人々との協力と対話を促進する価値観<br><br>1. 公平性と公正性<br>2. 持続可能性<br>3. 平和(対話・協力・共存) | 異文化、他者への理解と尊重を深める積極的な態度<br><br>1. 開放的で柔軟な態度<br>2. 他者を尊重する態度<br>3. 社会的・環境的責任を果たす責任感 |

# 音楽科研究授業での、創造的活動×創造的思考×教科の見方・考え方

## ①創造的活動

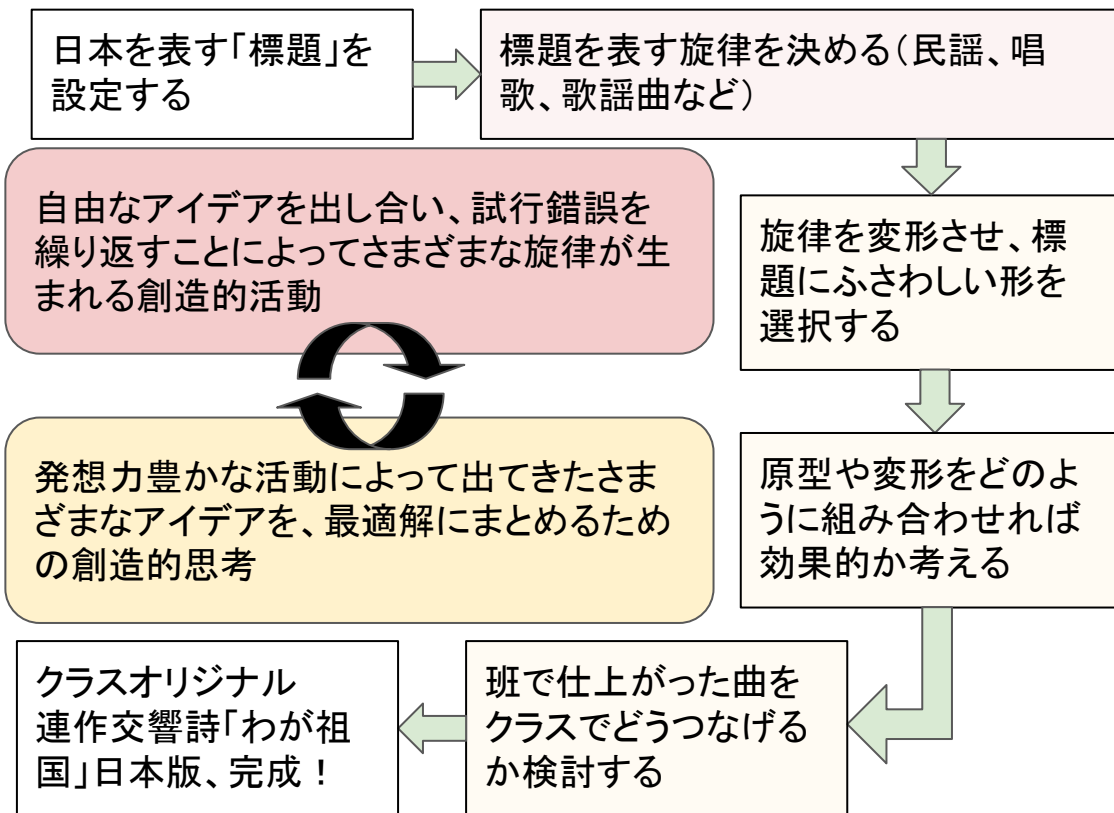
標題を表すのに適した旋律を選択したり、よりふさわしい形になるよう変形させたりする

## ②創造的思考

どのように変形させれば、より標題を表すのにふさわしい旋律になるか（アイデアの取捨選択）

## ③音楽科の見方・考え方

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形作っている要素とその働きの視点で捉え、標題と関連付けること



## 題材(鑑賞から創作)の流れ

- 既習事項:スメタナ作曲 連作交響詩「わが祖国」

⇒オーストリアからチェコを取り戻そうとする歴史的背景の中で作曲され、チェコの自然や伝説を題材にした曲が連なる交響詩(標題音楽)。第2曲「ブルタバ」にはチェコの民謡を変形した主題が登場する。

- スメタナに倣い、日本の自然や文化などを標題とし、既存の旋律を利用した曲を生活班でつくり、最終的にクラス内で連ねて連作交響詩に仕上げてゆく

⇒いずれの過程においても生徒同士の協働による試行錯誤を想定しており、個々の技量を効果的に組み合わせた創作活動を期待している

# 1時間目終了時点の生徒の実態

音楽室にある全ての鍵盤・弦・打楽器、アプリ、ソフトウェアを使用してよいため、以下のものを使用している

楽器:ピアノ、電子ピアノ、木琴、ヴァイオリン、箏、三味線など

アプリ:GarageBand

ソフト: MuseScore、Flat(楽譜共同編集ソフト)

## 実際の生徒の創作例(標題:「曲名」)

- 桜:「さくらさくら」
  - 夏祭り:「夏祭り」を和風に演奏
  - 忍者、侍:「彼こそが海賊」を和楽器で演奏
  - 移り行く町並み:「上を向いて歩こう」「川の流れるように」「キセキ」「夜に駆ける」
  - 富士山に登る:「富士山」を長調と短調で
  - 100円ショップ:100円ショップ数社のテーマソングを組み合わせる
  - トットちゃんの人生:「徹子の部屋のテーマ」
  - 磯辺焼き:大薩摩、東方の曲、ポップスのヴァイオリン部分
- ⇒王道なパターンから、教師の想像を超えた標題や選曲まで、かなり自由な創作過程である

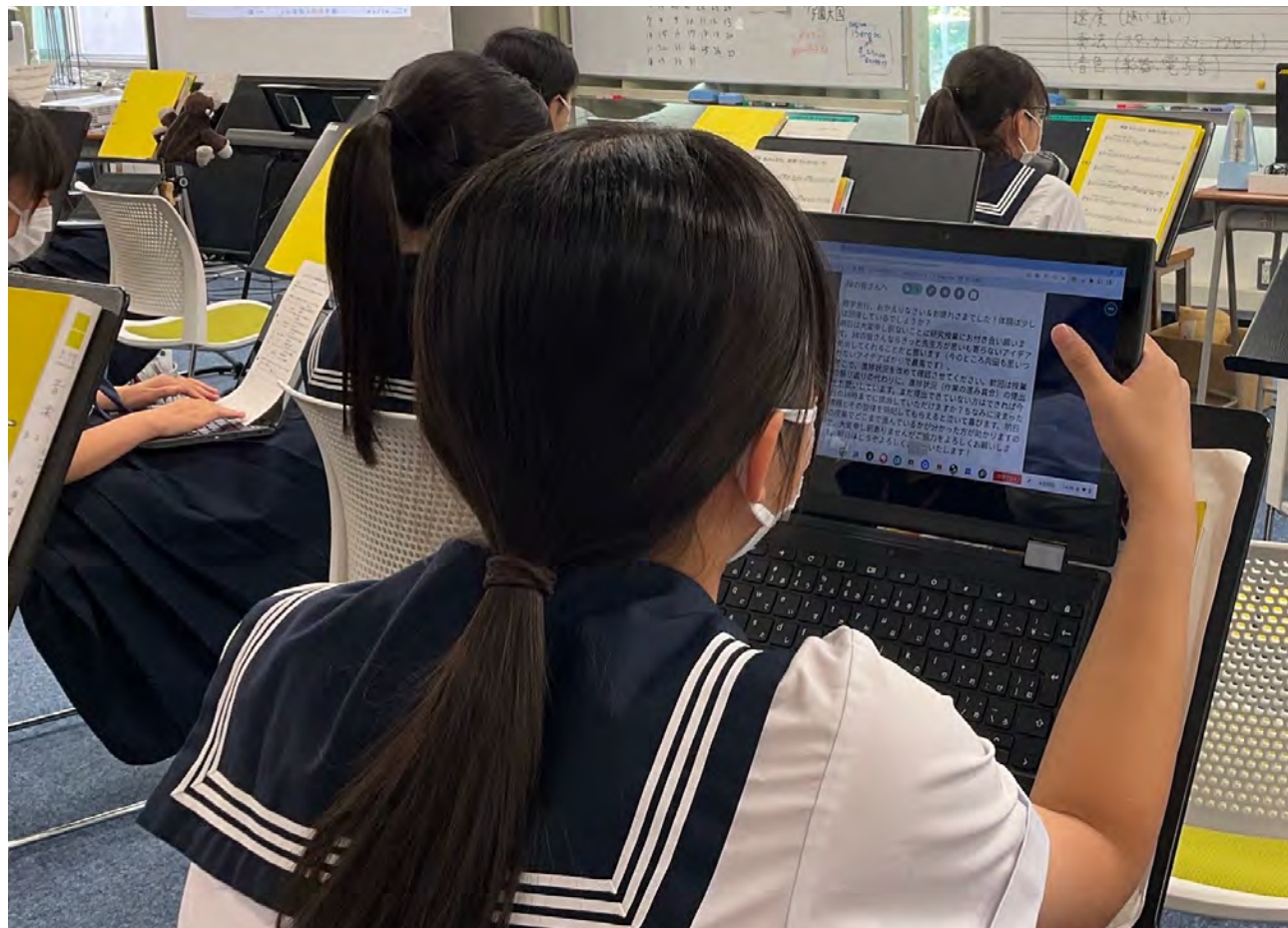
## 創作の題材として重視する点

- 本題材は創作の中でも、旋律の原型をアレンジし、構成や形式に工夫をこらすタイプの題材である。一から旋律を考えるのではなく、既存の旋律をいかに標題(情景)に合わせて変化させることができるか、組み合わせることができるか、に焦点を置いている。
- 本校の生徒は豊かな音楽文化の中で育ってきており、音楽に関する素養がある程度備わっている生徒が比較的多い。そのため、自由度を上げた条件設定となっている。本題材における評価は、記譜能力や音楽的な完成度を求めるのではなく、アイデアの斬新さやそれを選択した意図、その意図に基づいた完成作品となっているか、という観点で行っていく。

# 使用した教材・生徒の完成作品

- ①旋律のいろいろな変形 [楽譜](#) (向田作成)
- ②旋律の変形・伴奏付 [完成版楽譜](#) (向田作成)
- ③生徒による完成作品 (動画) 3年[松組](#) [蘭組](#) [菊組](#) [梅組](#)

## 3年蘭組 研究授業の様子



課題提示。手前の生徒は向田から事前に送られたコメントを読んでいる



原型を変形させ、さまざまな調子で弾いてみせる。「すごーい」という声  
表題とのマッチングはどうか？ いろいろな変形にチャレンジして欲しい

## ！注意事項！

楽譜にとらわれすぎている班が時々見られます。楽譜を入力することに時間をかけすぎていると、変形などの作業にたどり着きませんので、ある程度演奏しうるもの、もしくは入力しやすいものにすることをおすすめします。

楽譜じゃなくって、演奏が出来上がるのが大事！



楽譜作成ソフトで作曲。グループで共有して共同制作している。

♪なつもちーかづくは一ちじゅうはちや～のメロディが聞こえてくる

「短調だと暗い感じにならない？」

「じゃあ変えてみる？」



ジャーンとシンバルを入れて大  
笑い。響の意外性。

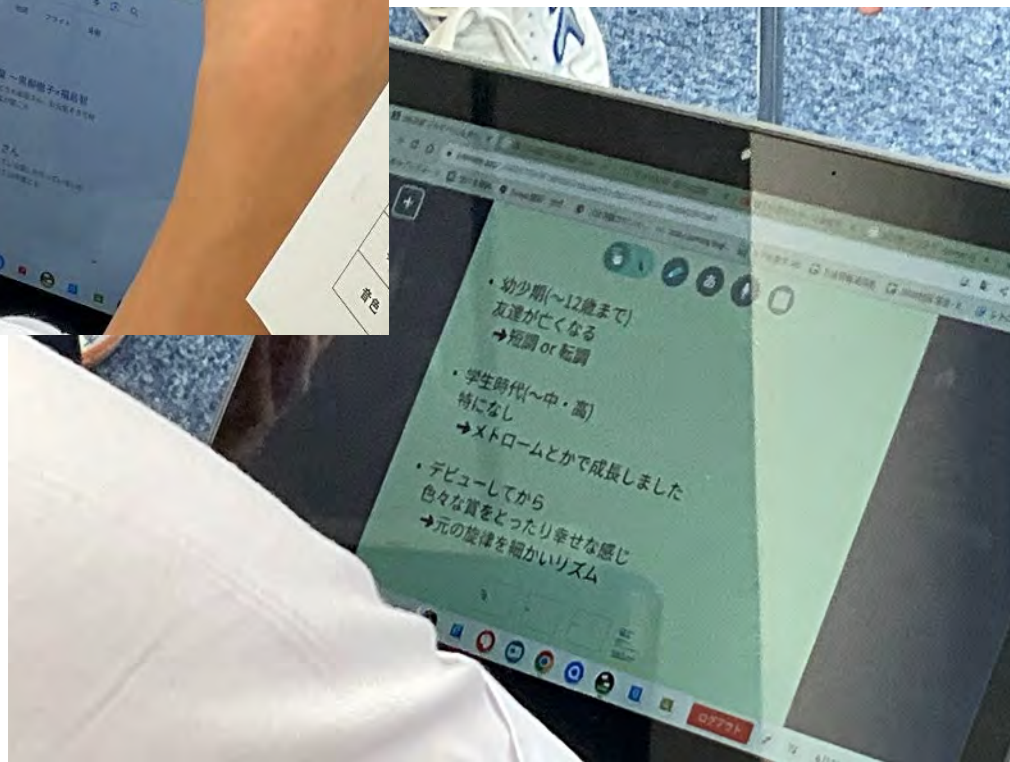
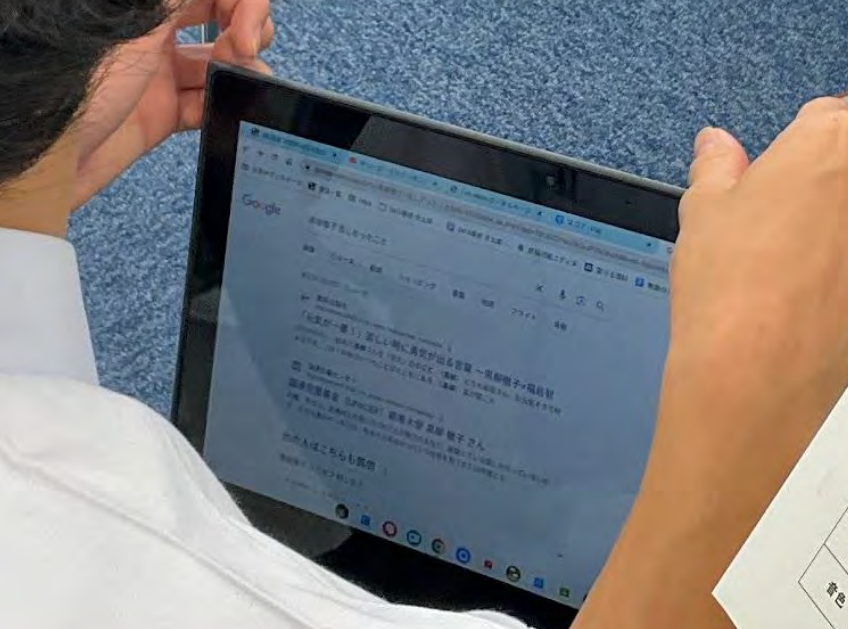


このグループは小節ごとに分  
担。YouTubeから音符を拾っ  
てくる生徒も



ガレージバンドの編集データをグループで共有

森山直太郎の「さくら(独唱)」を変調させて聴いている



「黒柳徹子 苦しかったこと」で検索している生徒 (トットちゃんの背景を知って作曲に活かしている)



全体共有。二つのチームをピックアップして紹介。

茶摘みチーム。パーカッションでドンドン。「派手だなあ」

森山直太郎「さくら」を短調に。伴奏をつけてゴージャスに。



振り返りを記入